

# 岐阜県及び長野県に分布する美濃帯堆積岩から得られたジルコンU-Pb年代

## Zircon U-Pb ages from sedimentary rocks of the Mino Belt in Gifu and Nagano Prefectures, Central Japan

\*箱岩 寛晶<sup>1</sup>、長田 充弘<sup>1</sup>、山田 来樹<sup>1</sup>、丹羽 正和<sup>1</sup>

\*Hakoiwa Hiroaki<sup>1</sup>, Mitsuhiro Nagata<sup>1</sup>, Raiki Yamada<sup>1</sup>, Masakazu Niwa<sup>1</sup>

1. 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター

1. Tono Geoscience Center, Japan Atomic Energy Agency

中部日本の美濃帯は、主にジュラ紀から白亜紀初頭にかけて形成された付加体からなる（Wakita, 1988など）。美濃帯の地質及び年代に関する研究は、特に放散虫を用いた微化石層序が確立されて以降、その岩相及び年代が詳細に解明されてきている（例えばWakita, 1988; Otsuka, 1988など）。これらを基準に美濃帯の延長と考えられている丹波帯や足尾帯、中国やロシアなどのジュラ紀付加体と対比が行われている（例えば、中江, 2000など）。近年では、砕屑岩に含まれているジルコンのU-Pb年代を用いた地質帯どうしの対比が盛んに行われており、中国やロシアに分布するジュラ紀付加体に関しても同様に、ジルコンU-Pb年代に関する研究は行われているが、美濃帯においては研究例が非常に少ない。日本原子力研究開発機構東濃地科学センターでは近年、ジルコンのU-Pb年代測定技術の整備を進めてきたことから、それら技術の適用実績の拡充を目的として、既存の美濃帯堆積岩試料を対象としたジルコンU-Pb年代測定を実施した。本研究は、美濃帯と他の地質帯との高精度の地質対比を行うための基礎データ拡充にも貢献する成果になると考えられる。

試料は土岐一多治見地域の美濃帯相当層、美濃地域の金山ユニット、高山地域の平湯コンプレックス、木曾地域の沢渡及び味噌川コンプレックスの砕屑岩である。試料からジルコンを分離し年代測定を実施した。その結果暫定的ではあるが、土岐一多治見地域の美濃帯相当層からは149.5±5.4 Maのクラスター年代、金山ユニットからは160.0±9.7 Maの最若年代が得られた。加えて本発表では平湯コンプレックス、沢渡コンプレックス及び味噌川コンプレックスの砕屑岩から得られたジルコンU-Pb年代についても報告する予定である。

本研究は、経済産業省資源エネルギー庁委託事業「令和5年度高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する技術開発事業（地質環境長期安定性総合評価技術開発）（JPJ007597）」の成果の一部である。

### 【参考文献】

中江 訓, 2000, 地質学論集, no.55, 73-98.

Otsuka, T., 1988, *Jour. Geosci. Osaka City Univ.*, **31**, 63-122.

Wakita, K., 1988, *Bull. Geol. Surv. Japan*, **39**, 675-757.

キーワード：美濃帯、ジュラ紀、ジルコン、U-Pb年代

Keywords: Mino Belt, Jurassic, Zircon, U-Pb age